

### 《北米産大豆》

### 15/16年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほど発表した、15/16年度の世界大豆生産・需給予測によれば、アルゼンチンなどで増産となった一方、中国やインドの減産を反映し、生産量は前回比0.1%減の 3億2, 015万トンとなりました。

<u>搾油需要が前回から減少したこと</u>により、期末在庫は<u>前回比0.2%増の7,902万トン</u>と上方修正となっています。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、生産高・総供給量は前回並みだったため、大きな変動はありませんでした。

需要量は、輸出が前回より増加したことにより、上方修正されました。それにより在庫率が前回比0.5%減の12.0%に低下しています。

### 15/16年產 世界大豆生產 需給予測

| 生 産 量 | 3億2,015万t | (対前年比  | 0.2%増)    |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 消費量   | 3億1,635万t | (対前年比  | 5.6%増)    |
| 期末在庫量 | 7, 902万t  | (対前年比  | 1.7%増)    |
| 期末在庫率 | 25.0%     | (対前年度差 | 1.0ポイント減) |

#### 15/16年産 米国大豆生産・需給予測

| 生 産 量 | 1億0,693万t | (対前年比  | 0.0%增)    |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 消費量   | 5, 442万t  | (対前年比  | 0.9%減)    |
| 輸出量   | 4,640万t   | (対前年比  | 7.5%減)    |
| 期末在庫量 | 1,211万t   | (対前年比  | 133.0%増)  |
| 期末在庫率 | 1 2.0%    | (対前年度差 | 7.1ポイント増) |



#### 2016年産米国大豆作付面積は1%増の予想、コーン作付は6%増に

米農務省は3月31日、2016年産米国農産物の作付意向調査を発表しました。それによれば、大豆の作付意向面積は前年比1%減の8,223万6,000エーカーを見込んでいます。最も作付面積の大きいイリノイ州は2%増、次いでアイオワ州は2%減と主要州は大きな増減はありませんでした。

トウモロコシの作付意向面積は前年比6%増の9,360万1,000エーカーを見込んでいます。収益低迷を嫌気して前年作付が減少した反動により、イリノイなど主要州をはじめ、軒並み作付けが増加しています。

## 三倉産業株式会社



# ブラジルで大豆の収穫進む、アルゼンチンは局地的に洪水

米農務省の週間天気と作物調査によれば4月上旬から中旬にかけて、ブラジルでは中部を中心に暑く乾燥した天気となり、最終段階に達している大豆の収穫を助けました。

アルゼンチンでは<u>降雨に恵まれ、後期作付のコーンや大豆にとっては成熟に有益</u>となった一方で一部地域では局地的な大雨に見舞われ洪水を引き起こしました。

### 《国產大豆》

### 〇平成27年産国産大豆入札情報

平成27年産国産大豆の<u>3月の入札結果</u>が、日本特産農産物協会から発表されました。 それによると、<u>上場数量8,341トンで、落札数量が6,439トン、落札率が77%</u>という結果となりました。2月と比較すると、<u>平均落札価格は、60kg/253円の値下がり</u>となりました。

普通大豆の銘柄別では、前回に引き続き<u>九州産フクユタカが1万5,000円前後</u>と高値をつけました。岐阜、愛知産フクユタカも1万2,000円台となりました。

全体的には九州フクユタカは一部地域で若干下がりましたが、高値を維持。東日本銘柄は品種によって不落もあるものの、大きな変動を促す程ではなく、価格は前回と変わらず落ち着いています。

| 入村   | 1月   | 上場数量      | 落札数量       | 落札率     |
|------|------|-----------|------------|---------|
| 15年1 | 1月 1 | , 503 t   | 1, 503 t   | 1 0 0 % |
| 1 :  | 2月 3 | , 511 t   | 3, 095 t   | 8 8 %   |
| 16年  | 1月 8 | , 865 t   | 7, 119 t   | 8 0 %   |
| •    | 2月 8 | , 872 t   | 6, 916 t   | 7 8 %   |
| ;    | 3月 8 | , 341 t   | 6, 439 t   | 7 7 %   |
|      |      |           |            |         |
| 合    | 計 31 | , 092 t 2 | 5, 072 t 8 | 60.6%   |

## 《 トピックス 》

#### 日本の甘い農薬基準が五輪の国際食材調達に暗雲!?

2020年の東京オリンピックとパラリンピックを控え、日本の食を世界にアピールする絶好のチャンスだが、その元となる国産食材確保に暗雲が立ちこめている。

前回のロンドン五輪で採用された<u>「グローバルGAP(農業生産工程管理)」所得が不可欠</u>になりそうな状況の中、問題となっているのが、<u>日本の農薬の使用基準の緩さ</u>。EUなどで使用禁止の農薬が野放し状態となっており、このままではかなりの食材を外国産に頼らざるを得なくなり、せっかくの商売チャンスを失うのではと不安の声も聞こえている。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151 URL:http://www.mitk.co.jp/mitukura E-mail: mitk@mitk.co.jp <<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>